

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

し てい ぶん か ざい し せき

指定文化財(史跡)

うしがみいせき

牛神遺跡

新高総早倉矢
見梁社島敷掛
市市市町市町

井原市

浅里笠
口庄岡
市町市



場所

井原市のがみちようさいじうしがみ
・井原市野上町堂西字牛神



時代

へいあんじだい かまくらじだい
・平安時代～鎌倉時代



指定年月日

へいせい
・平成6(1994)年
7月11日



所有

りょうぜんじ
・両山寺



★ この史跡について

石を積み上げて築かれた低い基壇の上にある7基の塚状の石積みと、少し離れたところにある1基の塚状の石積みから構成されています。

これらの8基には石室が設けられていて、そのうち4基に甕が残っています。このうち三つの甕は亀山焼であることから、平安時代末期から鎌倉時代初頭の遺跡であると考えられます。

この遺跡には、甕以外の出土品がないため、墳墓、経塚などであると考えられますが、断定はできません。野上町にあるこの遺跡近くには、頂見寺という山岳寺院があり、牛神遺跡はこの頂見寺の奥院にあたる西端に位置しており、霊地とみなされていた可能性が高いと考えられます。